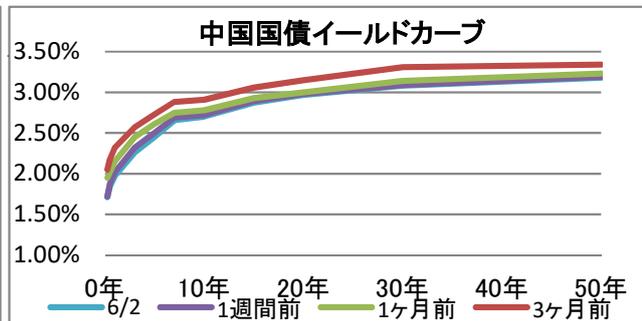
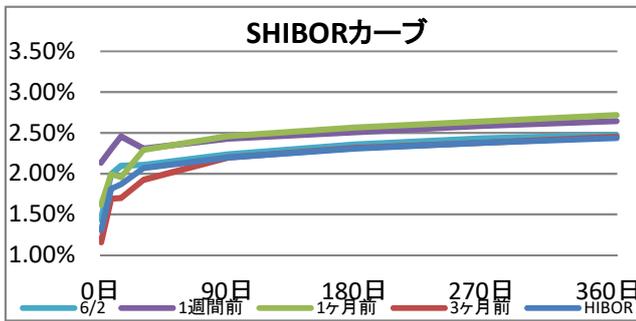


| 基準レート | | 2023/6/2 | (前週末比) |
|--------|---------|----------|----------|
| 人民元基準値 | USD/CNY | 7.0939 | +0.0179 |
| | JPY/CNY | 5.1094 | +0.0528 |
| SHIBOR | 3M | 2.1990% | -0.0390% |
| 国債利回り | 10年 | 2.70% | -0.02% |
| 上海総合指数 | | 3,230.07 | +17.56 |



(1) 概況

国際金融市場では、景気と金融政策見通しをめぐる神経質な展開が続く、株式市場は金融政策を横目に景気動向を材料に、債券市場は米債務上限問題への議会動向を冷静に見極めつつ、景気動向とFRBの金融政策を材料に調整を繰り返す、外為市場では狭いレンジ取引が続いている。

中国市場では、先週公表の国家統計局PMIと財新PMIの結果が相反する結果となったものの、根強い景気減速や米中対立への懸念、FRBの利上げ停止期待もあって債券市場では利回りが低下し、株式市場は上値は重いものの反発。為替市場では元売りが続いて昨年11月以来の7.12元台半ばに達していたものの、週末にかけてFRBの利上げ見送り観測等により元安は一服。

中国では、習主席が中央国家安全委員会を開催し、国家安全保障システムの現代化加速やリスク監視・早期警告システム構築を主張し、科学技術の自立に関する書籍を出版し、李強総理は國務院常務会議で新工ネ車の購入税優遇措置の延長等の方針を示し、中国工信部は、ブロックチェーン技術分野の国家標準を初めて公表。国家金融監督総局・李雲沢局長は、内部会議で、中国の国情と金融業務の規律を正確に把握した上で、金融監督管理システムの構築を進める必要性を強調し、国家外貨管理局・潘局長も、金融リスクを正確に評価し、監督管理・リスク防止力を向上させる必要性を強調し、証監会副主席は、上場企業協会会合で、上場企業の質の高い発展による中国の特色ある現代資本市場実現を求め、深圳開催の国際フォーラムで資本市場の改革や対外開放拡大方針を強調。中国公安部は、株式上場の全面登録制度導入等の新環境対応のため、証券犯罪防止業務の更なる強化を公表し、中国銀行間市場交易商協会は、新たに7社での債券業務関連違法行為の自主検査開始を公表。KPMGは中国銀行業調査報告において、中国当局による監督管理厳格化への懸念が高まっているとの結果を示し、訪中したJPモルガンCEOは、中国政府の政策等への不確実性が国内外投資家のコンフィデンスを阻害する懸念を表明している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日180億元に対して、リバースオペ億790元を実施し、ネットで 610億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・国家統計局PMI (5月) は、製造業が48.8% (4月、49.2%) と2カ月連続で分岐点の50%を下回った。サブ指数は生産が50%を下回る低下となったことで、唯一改善した納期を除く全てのサブ指数が50%を下回った。非製造業も54.5% (同、56.4%) と、運輸関係は好調だったが、不動産を含む建築業商業活動の不振等から、2カ月連続で低下。この結果、総合でも52.9% (同、54.4%) と50%超ながら2カ月連続の低下となった。
- ・財経PMI (5月) は、中小企業のウエイトが大きい製造業が50.9 (4月、49.5) と、新規受注と生産の増加により上昇し、2カ月振りに分岐点の50を上回った。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

| | SHIBOR | 無担保資金 | レポ | NCD AAA |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| ON | 1.3070% | 1.3070% | 1.2000% | |
| 1W | 1.8140% | 1.9600% | 2.3000% | |
| 2W | 1.8700% | 2.0500% | 2.0000% | 1.6500% |
| 1M | 2.0680% | 1.9500% | 4.0000% | 2.1000% |
| 3M | 2.1990% | 2.3300% | 2.3000% | 2.1100% |
| 6M | 2.3070% | | 2.3000% | 2.2000% |
| 9M | 2.3790% | 3.0500% | 2.4000% | 2.3100% |
| 12M | 2.4350% | 3.1000% | | 2.3800% |

5月末を平穏に終え、月初の資金余剰の状況を迎えており、四半期末となる6月末が意識される状況になっておらず、金利水準は概ね落ち着いた状態。ターム物の金利水準は1ヶ月の2.1%前後で出会いを除き、その他の期間の出会いも限定的。

NCDは高水準の発行が続いているものの、金利水準は低水準で安定しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月から3ヶ月までは2.1%前後、6ヶ月が2.20%前後、1年が2.3%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

| | BID | OFFER |
|-----|-------|-------|
| ON | 5.25% | 5.26% |
| 1W | 5.30% | 5.37% |
| 1M | 5.45% | 5.50% |
| 3M | 5.50% | 5.60% |
| 6M | 5.55% | 5.60% |
| 12M | 5.55% | 5.60% |

週末に米雇用統計を控えていることから、ISM製造業景況指数悪化やFRB高官の6月利上げ停止示唆発言の影響は限定的となり、中国国内市場のビッド仕掛りの展開に変化はなかった。ターム物の出会いは依然として限定的となっており、ターム物の金利水準は、1ヶ月は5.50%前後、3ヶ月は5.5%台半ばで取引引きされている。

③ 人民元債券市場

| | 国債 | 地方債AAA | 金融債AAA | 社債AAA | 社債AA |
|-----|-------|--------|--------|-------|-------|
| 3M | 1.71% | | 2.12% | 2.24% | 2.40% |
| 6M | 1.85% | | 2.20% | 2.37% | 2.52% |
| 1Y | 1.97% | 2.06% | 2.39% | 2.47% | 2.68% |
| 3Y | 2.26% | 2.49% | 2.71% | 2.88% | 3.47% |
| 5Y | 2.45% | 2.67% | 2.82% | 3.08% | 3.72% |
| 10Y | 2.70% | 2.89% | 3.03% | 3.32% | 4.10% |

米国債券市場では、米議会の債務上限問題への対応を受け止めつつ、経済指標を手掛かりにFRBの金融政策に対する見通しを調整する展開となり、ISM製造業景況指数とFRB高官発言で上昇（利回り低下）し、雇用統計でやや戻し（利回り上昇）している。中国債券市場では、短期金利の低位安定と軟調な経済指標等から、利回りは小幅低下。

上記により、米国の10年国債利回りは3.69%（前週比-11bp）に低下しており、10年中国国債（2.70%、-2bp）に対する上回りは+99bp（同-9bp）と縮小に転じている。

イールドカーブは、景気見通し悪化等により小幅ながら全体的に下方にシフトしている。クレジットスプレッドは、中期までは利率債利回りの低下が相対的に大きく拡大に転じたが、長期では信用債利回りの低下が大きく縮小している。

④ 先物為替市場

| | USD / CNY |
|-----|-------------------|
| 1M | -235.4 / -233.1 |
| 3M | -697.0 / -693.0 |
| 6M | -1314.0 / -1307.0 |
| 9M | -1840.0 / -1831.0 |
| 12M | -2304.0 / -2296.0 |

対ドル基準レートは7.0939と前週末比+179pipsのドル高元安、対円基準レートは5.1094と同+528pipsの円高元安と、市場での元安の流れを受けた設定が続いた。中国国内市場では、政府が元安を容認していると受け止め、米中金利差拡大等を材料に昨年11月以来となる7.12台半ばまで上昇していたものの、米金融政策を占う雇用統計を控えていることや当局の急速な元安に対する牽制への懸念から7.07台に戻して週末を迎えている。

先物は、米中金利差拡大に対する思惑が交錯し、1年ものは-2400台を挟んだ小幅なレンジ取引となったが、FRBの利上げ停止観測により金曜日には-2300まで縮小している。

⑤ 金利スワップ

| | Quarterly 7d Repo A/365 | Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360 | Annually O-N SHIBOR A/365 A/360 |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 3M | 2.00% | | 1.67% |
| 6M | 2.02% | 2.23% | 1.68% |
| 9M | 2.05% | 2.30% | 1.70% |
| 1Y | 2.09% | 2.32% | 1.72% |
| 3Y | 2.33% | 2.62% | 2.00% |
| 5Y | 2.55% | 2.89% | |
| 7Y | 2.69% | 3.05% | |
| 10Y | 2.81% | 3.18% | |

スワップ金利も、債券利回り同様に小幅に低下しており、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、短期の基準金利の低下が続いていることから縮小傾向を維持している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。